

校長室だより(No17)

R4.12.5

今、国内ではワールドカップサッカー日本代表の活躍に関心が集まっています。

そこで、次のような話を子どもたちにしました。

今日（12月2日）、朝早くからサッカー日本代表の試合を見た人？（多数挙手・・・）

このことを知らなかった人にも、今からお話しますね・・・。

実は、サッカーがとっても強いスペインという国のチームに勝ったんです。

実は、それまでにサッカーがとっても強いドイツという国にも勝っているんです。

ですから、（決勝トーナメントという）次の試合へ進むことができましたんです。

（中には拍手をする子も・・・）

そこで、勝利をおさめた日本代表の選手たちにアナウンサーがその理由を聞いたんです。

「どうして勝つことができたのですか？」って・・・。

その返ってきた言葉がとても印象的だったので、みなさんに紹介したいと思います。

まとめると、3つあります。

1つ目は、自分を信じたこと

2つ目は、仲間を信じたこと

3つ目は、最後まで、あきらめなかったこと

今まで積み上げてきた自分の力を信じ、ともに協力してきた仲間を信じ、最後までゲームをあきらめなかったからこそ、強いチームに逆転で勝つことができたというのです。

（このことは、5年生の「夢の授業」でオリンピックに出られた講師の先生も同じ事をおっしゃっていました・・・。）

さて、みなさんは今、がんばっていること（目標）はありますか？

叶えたいこと（夢）はありますか？

もし、まだない人は早く見つけられるといいね。

日本代表選手の言葉を思い出して、夢や目標に向かって取組んでみてください。

（さらに6年生には・・・）

しかし、この3つのことを大切にしながら取り組んでも、やっぱり上手くいかなかったり、失敗したりするときもあるよね。

でも、失敗って何かな・・・。読み方は、「失う」と「敗れる」だよね。

本当の「**失敗**」って、私はこう思うんです。それは・・・

「**自分を見失**ってしまうこと」と「**昨日の自分に敗**れ続けること」です。

でも、みなさんの中にいますか？そんな人？・・・いないよね。

だから、「テストでいい点がとれなかった。」とか、「昨日の試合でいいプレーができなかった。」なんていうのを「失敗」なんてとらえないでほしいんです。

「ここがうまくいかなかったから、次はこうやってみよう！」って思えばいいんです。

一生けんめい取り組んだ結果は、夢や目標に繋がる自分しか経験していない、本当の

「財産」になるからです。

卒業まであと4ヶ月。

がんばりたいこと、叶えたいことに向かって、小学校での学びを続けていきましょう。

「失敗とは何か？」の考え方を変えれば、自分や仲間を信じてあきらめず、挑戦し続けることができます。答えのない未来を「生きぬく力」が子どもたちに身につくように、これからもご協力をお願いします。